

## 不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関における情報提供様式（任意記載）

本項目についての記載は、必須ではありません。下記記載様式を用いて、可能な範囲で記載して下さい。

## 治療実績について

※ 施設における、不妊治療による治療成績を記載して下さい。

（記載様式）

当院において、データの揃っている直近の1年間（1月から12月まで）に、治療開始時点において35歳以上40歳未満である女性に対して実施した治療の実績は以下の通りである。

## 【新鮮胚（卵）を用いた治療成績】

	IVF-ET	Split	ICSI	合計
採卵総回数（回）	61	50	319	430
移植総回数（回）	当院では全胚凍結のため、新鮮胚移植は行っていない。			
妊娠数（回）				
生産分娩数（回）				
移植あたり生産率（%）				

IVF-ET：採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精を実施

Split：採卵により得られた卵子に対し、体外受精と顕微授精に分けて実施

ICSI：採卵により得られた全ての卵子に対し、顕微授精を実施

## 【凍結胚を用いた治療成績】

	融解胚子宮内移植
移植総回数（回）	667
妊娠数（回）	331
生産分娩数（回）	2020年のデータが出
移植あたり生産率（%）	揃っていない

## 来院患者情報

※ 施設を受診した患者数について記載して下さい。

（記載様式）

データの揃っている直近の1年間（1月から12月まで）に体外受精・顕微授精・胚移植を行った患者数（実数）は

25歳未満	：	（ 0 ）	名
25歳以上 30歳未満	：	（ 73 ）	名
30歳以上 35歳未満	：	（ 400 ）	名
35歳以上 40歳未満	：	（ 773 ）	名
40歳以上 43歳未満	：	（ 506 ）	名
43歳以上	：	（ 312 ）	名

データの揃っている直近の1年間（1月から12月まで）に 精巣内精子採取術を行った患者数（実数）は

20歳未満	：	（ 0 ）	名
20歳以上 30歳未満	：	（ 0 ）	名
30歳以上 40歳未満	：	（ 5 ）	名
40歳以上 50歳未満	：	（ 1 ）	名
50歳以上	：	（ 0 ）	名

#### 治療指針について

※ 施設における統一された治療指針がありましたら記載して下さい。

（治療指針の例）

- ・ 治療のステップアップ・ステップダウンに関する考え方
- ・ 年齢に応じた治療の選択
- ・ 調節卵巣刺激法（自然周期・低刺激、高刺激等）の選択 等

#### 【治療方針】

当院は妊娠・出産を希望される患者様に質の高い、納得した治療を提供するとともに、安全な妊娠・出産を考慮して、適切な時期に適切なステップアップを図ることで、不妊期間を長期化させない、効果的な治療を行うことを目標としています。

不妊スクリーニング検査後は、タイミング療法を年齢に応じて1～3周期、人工授精を3～5周期、一般不妊治療で妊娠に至らない場合は、体外受精や顕微授精などの生殖補助医療（以下ART）に進みます。

また、女性の年齢や卵巣予備能、男性因子、免疫因子などの一般不妊治療では妊娠が難しい原因を有する方は、患者様と相談の上で速やかにARTに進めるようにしています。ARTの調整卵巣刺激においては、患者様の年齢、卵巣予備能（血中AMH値、月経初期の小卵胞数、血中FSH値）、過去の治療歴に応じて、低刺激、高刺激など、その患者様にとって最も良い方法をプロトコールに応じて選択しています。尚、女性の年齢が38歳以上の方は、安全な妊娠・出産のためにもARTを推奨しています。

令和3年3月18日